

「ヘルペス・アトピー手記」 柴垣 有美子 57歳

2014年11月13日

松本先生のところへ初めて伺ったのは、6年ほど前になります。思い出すのも嫌なので、今日まで体験記を書いていませんでしたが、先日ついを書いてないことが先生にばれ、「はよ書いてや」と言われ、書いています。先生、遅くなってごめんなさい。実は松本医院にたどり着くまでに、今では誰も想像もつかないほど、大変なひどい時期が約2、3年ありました。顔がなんだか赤いと気づいたのが最初です。そのうち、段々赤味が増してきました。何をしても赤味は引きません。皮膚科は嫌でしたが、赤い顔のままいるのも耐えられないので、とりあえず、行きました。当然ステロイドです。当時はただ理由なくステロイドは怖いと思っていたので、症状の改善も全くなかったので、すぐ使用をやめました。そして赤味はどんどん増し、顔はぱんぱんに腫れていきました。顔の形もすっかり変わり、どうしようもなくなり、昔からのいきつけの漢方薬局に行きました。そこでは、煎じ薬をいただきました。すぐ治るよと言われて一日3回飲みましたが、症状はどんどんひどくなり、赤黒く腫れあがりました。皮膚は熱を持ち、熱で乾いて皮膚もぱりぱり剥がれていました。仕事をしていたので、会社にいくのがとても嫌でしたし、人に会うのも苦痛でした。今思うと、リバウンドだったのでしょうか。ですが所詮漢方薬局であり（つまりは薬剤師さん）、ドクターではなかったので、治るまでの道筋を示してくれず、こちらの不信はつのるばかりでした。3か月ほど飲み、顔も治らないし、乾燥でぱりぱりはがれると訴えると、「ああ、乾燥するなら馬油でも塗るとよいよ」と。それなら初めからどうして皮膚を保護するよう教えてくれなかったのかと不信は一気に頂点に達し、やめました。そこからあまりに色々あったので、正しい順番を覚えていません。とにかく、どんどんひどくなっていったのです。それこそ、顔は腫れあがり、すでに自分の顔ではありませんでした。あまりのことに、会社を2週間休んだのを覚えています。休んでいる間、身体もだるいし、顔は熱で赤く腫れあがり、毎日あちこちから汗が出て、とにかくまっすぐ上を向いたまましか寝れませんでした。横を向くと、枕に接したところから汗があふれ出て、大変だったからです。（この上を向いたまま寝るという状態は、松本医院に行くまで続き、身体中こちこちになりました）自分では気づいていませんでしたが、きっと熱もあったと思います。毎日起きて鏡を見るのが本当に嫌でした。そして「このままどこへも出かけられない人生なんて、生きている値打ちがない。死んだ方がましかも」と初めて思ったことを覚えています。汗が出ては乾き、それがまた剥がれ、また汗がでる。そのうち、顔の皺にそって皮膚が切れて血がでるようになりました。ある朝起きて、俗に言う、目じりのカラスの足跡部分に沿って赤い点々状に血が出て固まっているのを見たとき、ああ、これはさ

すがにもうあかんと思ったことを覚えています。勿論ただ手をこまねいていたわけではなく、ネットであれこれ検索して、アトピーが治るといふ漢方薬局で、軟膏を買ったり、色々しました。(紫雲膏でした) また、同様にアトピーの人も治りましたと宣伝している化粧品会社の製品もあれこれ試しました。たくさんのお金と労力をつぎこみました。とにかく必死です。何しろ、仕事場でも、スーパーでも、犬の散歩でも、誰もが必ず好奇な目で見ますから。ただ普通の生活を送りたいだけなのに、なぜダメなのかと、自己否定の毎日でした。ただ、どこも続かなかつたのは、治るまでの理論を示してくれなかつたからに他なりません。

そうこうするうちに、汗は収まってきました。何がどのようになってなんて、今ではわかりませんが、とりあえず顔は赤く、顔一面に水いぼのようなものができた状態となりました。その間、つばきに大量発生した蛾にやられて、全身赤い湿疹が広がった時がありました。顔も勿論治っていませんから、絶望しました。この時はさすがに、全身かゆみもひどく、もちろん、搔けば汗もあちこちから出て、さすがに耐え切れず、ネットで調べて近くのアトピー外来のある皮膚科に行きました。やはり、ゆるいステロイドが出され、顔は「酒さ」だろうと、診断されました。ワセリンも出ました。ついに身体は辛抱ならずステロイドを3日ほど塗ることになりました。奇跡的に、それだけで湿疹はひき、その後いちども再発しませんでした。今から思うとラッキーでした。そののちはすぐにワセリンにきりかえ、顔は怖かつたので、ステロイドは塗らずにワセリンだけ塗っていました。身体に出た場合は、服で隠せるから恥ずかしくないけど、痒みが尋常ではないこと、顔に出た場合は隠せないで恥ずかしくつらいが痒みはない、ということを経験則として知りました。自分が治つた後に何人もの人を松本医院に送り込みましたが、皆そうでした。で、結局、また、赤く腫れた顔に一面水いぼ状のぶつぶつのができた状態が続きました。そんなこんなが3年ほど続きました。後から思えば、これら全てがリバウンドの時期だつたと思います。

丁度3年目の9月、性懲りもせず何とか治りたいとネットであれこれ検索していると、「ステロイド炎症」という言葉を見つけ、えっ、ステロイドによって炎症がひどくなるんだと驚き、さらに検索していくと、体験談のような文章がヒットしました。そこに、「完治した」というびっくりするような言葉があつたのです。その言葉にどれほどの衝撃を感じたかは、アトピーに苦しむ方ならおわかりだと思ひます。

アトピーといへば、上手につきあつていくもので、そこに「完治」なんて言葉は、ありえないからです。とにかくその体験談を載せている元々のホームページを見たくて、表示されているアドレス部分から予想して検索すると、じゃじゃーん、松本医院についにたどりついたのです！！(私にとつても、それは、じゃじゃーん！！と言いたくなるくらいのことでした) そこには、夢のような体験談がたくさん載つていて、しかも、赤い字で難しい解説やら、「この

方はもう完治して来られていません」などの言葉が挿入されていました。仰天です。ありえない、本当だろうかと思いました。住所を見ると、高槻。私の家は茨木、なんとひと駅です。私だけだったら、なんだか嘘くさいと思って、行かなかったかもしれません。何しろ皮膚科は行ってもステロイドしか出さないから無駄と心底思い知っていたからです。また、北海道だったら、絶対行ってません。でも神様はいらっしゃいました。ちょうど、本当かなと長々HPの画面をにらんでいる最中に友人がやってきて、HPを見せたら、あ、このミスド知ってる。高槻やん、お茶したことあるよ、ダメ元で行ってみよう、お茶しに行ったと思えばいいやん、あかんかったらやめたらしまいやし、一緒に行こう行こうと、重いお尻を押してくれたのです。本当にありがたいことでした。そして、もっと本当にありがたかったのは、松本先生にお会いしてからの日々でした。嫌だったらちょっと考えるとか何とか言ってそのまま帰ってきたらいいやんと思いつつ行ったのに、こちらがあれこれ質問する間もなく、お薬ですからと言われ、はいと、もらって帰ったのでした。その時一瞬だけ迷いました。「絶対リバウンドはあるけど、ええな」と言われた時です。また、ひどい状態になるのか、それは嫌だなあと思ったのです。でも、リバウンドって言うけど、今だって症状は出てるし、症状が出ているという点では一緒かとすぐ迷いを断ち切りました。そして、それは正しかったのです。

顔がひりひりするの、日光の刺激のせいと思ってましたが、そりゃヘルペスだということで、煎じ薬とヘルペスの薬を飲みました。一日目にして、あ、これは違うと思いました。少し、赤味や腫れが引いたのです。ひりひりした感覚も減りました。こんなことは過去3年の中で初めての経験でした。それは、次の日も持続しました。入浴剤は翌日から煎じてお風呂に入りました。顔に何度もかけました。軟膏は赤と黄色を塗りました。軟膏のせいで黄色い肌に見えるのですが、赤味はどんどん引いていきました。人から見たら、黄色っぽい変な肌だったのですが、本当に嬉しかったです。お風呂は浴槽に色がつくので、ホームセンターで大きなブルーシートを買ってきて、すっぽりと浴槽にカバーのようにかけて毎日入りました。結局リバウンドはでませんでした。多少の赤味の増減はありましたが、どちらかという直線的に少しずつきれいになっていきました。

3か月目くらいに、顔にできていた水いぼ状のブツが猛烈にかゆくなり、かきむしっても良いと言われていたので、思い切りかきむしりました。すると、皮がやぶれて血が吹き出しましたが、きれいにむしりとれたのです。その頃は毎日鏡を見ながら、かゆくなったものを順番にかきむしって、水いぼ状のものをむしり取っては、血がとまるまでティッシュでおさえ、消毒し、そのあとに抗生剤のクリームを塗り、さらに軟膏を重ね塗る日々でした。傷跡も残ることなく、きれいに、丸3か月经つ頃には、あれほど沢山あったぶつぶつはほぼ消滅してしまいましたが、これまでの経緯から薄くなっていた皮膚は刺激に弱く、日光や風、熱、などによって、すぐに赤くなりました。そんな時でも軟膏を塗

っていれば数日で赤味も消え、黄色軟膏の上から化粧してもよいと言われていたので、とても気分がよくなって、松本医院にあの時行ってよかったと思う日々でした。

6か月もすると、ほぼ、私がアトピーなんて思う人はいないだろう位まで回復しました。でも、皮膚の状態が完全によくなるまで、と思い、結局煎じ薬は3年飲んだと思います。お風呂は初めの2か月くらいだけ入りました。初めは毎日、その後週に2, 3回入りました。今の私を見て、かつてそれほどアトピーで苦しんだと思う人は一人もいません。お肌、きれいね、と言われるくらいです。私がいまにも劇的にきれいになったのを見て、まず、友達の娘さんが自ら松本医院に行かれました。その後、何人もの人を松本医院に送り込みました。先生はご存じありませんが、小さなこどもさんもいますし、先月(24年10月)にもお一人。私の顔を見て、みなさん、私の言うことが本当だと思われる。だから、今、苦しい悲しい思いをしている人たちに声を大にして言いたいです。色んな過程を通るかもしれませんが、完治までの時間も色々でしょうが、必ず治ります。

HPの体験談をいっぱい読んでみてください。あ、私と同じ、僕と同じ、という方々が必ずいらっしゃいます。私も通院中は何度も読んで、自分が治っていく時期、過程が想像でき、励まされました。また、松本先生や看護師の横山さんには心身両面において励ましていただきました。皆様、体験談を書いてくださった方々をも含めて、本当にありがとうございました。今は一年に一度くらいの血液検査をお願いしています。

あと、問題はヘルペスです。松本先生は、「ぴりぴり、ひりひり、は全部ヘルペス」とおっしゃってましたが、今でも夏になると腕や肩あたりがぴりぴりします。ストレスがヘルペスを増長するのがわかっていますから、危ないなというときは、ヘルペスの薬を飲みます。そのままにしておくと体調不良、というやつになるからです。それでも、だんだんヘルペスの薬を飲むことも減ってきました。この頃では、あ、ヘルペスウイルスが悪さしているとか、あ、何かウイルスか菌かわからないけど、身体に入ったな、とかわかります。耳鳴りも頭痛も首こり肩こりは、みーんなヘルペス、と松本先生がいつも言われます。私の娘は、大変な職場への転勤や引っ越しなど大きなストレスがかかった時に「おかあさん、片方の耳がなんか鳴っている」と電話してきました。耳鼻科へ行くと周りから言われてると言うので「ええか！絶対耳鼻科の薬は飲んだらあかん。速達でヘルペスの薬を送るから、とにかくはじめは一日3回飲みなさい。絶対ステロイドは飲んだらあかん！！わかったか！！」と電話口で絶叫し、郵便局に走りました。2, 3日待っても、どうなったか電話がかかってこないの、しびれを切らしてこちらから電話すると、のんきな声で「あのお薬、一日飲んだら、すぐ治ったから、もう飲んでないよ」と言うではありませんか。本当に早いうちだったら、こんなに効くんです。ああ、ありがたい、と思いました。もう、色んな人に言いたいです。首こり肩こりは、筋肉痛の時も確かにあるか

もしれませんが、それでもやっぱり、ヘルペスだと思います。ヘルペスの薬もお薬であることには違いないので、飲まずにすむならそれにこしたことはない、今はできるだけストレスをためないよう、人生を楽しく、そして、楽に、生きやすくなるよう、自分の考え方を変えるべく、修行の日々です。(訓練しないと、考え方なんて変わりませんから、毎日が修行です) アトピーの方はぜひヘルペスの薬を同時に服用する必要があります。本当に症状の収まりは早いです。実感です。理論上云々と言ってる場合ではなく、この間のエボラ出血熱で日本のインフルエンザ薬が承認前に効くからと採用されたのと同じよう、臨床にて効果のあるものは、取り入れるべきです。煎じ薬、お風呂、軟膏、ヘルペスの薬が必要です。

もうひとつお伝えしたいことがあります。血液検査の数値からみると、私自身はアレルギーもなく、本来はこのようなことにならない人であると言われました。ところが、ある日、松本医院の壁に「耳鼻科で黙ってステロイドがでている」とかなんとか書いてありました。私は目を疑いました。とんでもないことに、その薬は、昔から耳鼻科でもらっていた薬だったのです。風邪のたびに何度も飲んだ薬です。そう言えば、にっちもさっちもいかず苦悩していた時期にたまたま風邪を引き、耳鼻科の薬を飲んだ瞬間、顔がつるりと真っ白に美しくなったことがありました。その時の私は無知なことに「なんだ、風邪薬を飲めば、顔も治るんだ」と感心したものでした。ただ、風邪も引いていない時に風邪薬を飲むのは流石に副作用が怖くて飲まなかったのは、偉くないけど偉かったと思います。なんのことはない、ステロイド服用により顔がずっと白くただけでした。おまけにステロイドを服用したことで、自分の身体に悪いことをしてしまったわけです。本当に知らないということは恐ろしいことです。通販の化粧品、薬などの成分表には、ステロイドが入っていても、それとは書いてません。難しい化学名で書いてあります。でも、なんでもそうですが、劇的に効くなんてのは、怪しいに決まっています。1週間でシワがなくなるはずもなく、アトピーが治るはずないのです。子供にも、その薬は風邪のときに飲ませていました。娘は肘や、首のあちこちに、かゆい湿疹が成人してから出たのですが、私がいかにきれいに治ったのを知っているので、絶対に皮膚科の薬はダメという私の言葉を聞き入れ、松本医院の軟膏をしこしこ長く塗り続け、なんとか治してしまいました。

最後に、病気を治すのは、自分です。治療を受けている最中に家の中で自分の体がわなわな震え、体温が下がり、立てなくなったときがありました。救急車を呼ぼうかと迷いながら、暖房器具を全てたき、なんとかその夜は過ごしました。翌日松本医院までよろよろしながら行って見てもらい、緊急の血液検査を受けました。結果、別に異常なしということで何ともないなと言われました。その帰り道、松本医院からJR高槻駅までいくほんの数分の間、私は心の中で考えていました。「え??どこも悪くないって??どういうこと?それって、それって、ひょっとして、気のせいだっていうこと?ええ??気のせいなの?気

のせいって、勘違いってこと？それなら自分の気の持ちようで治るんちゃうの。これよりしんどかったことなんて、いくらでもあったやろ。負けへんで。絶対負けへんで。しっかりしろ、私！！」と数分間ずっと心の中でしっかりしろ、負けへんでと言いつづけました。気のせいで、こんなことになるなんてどういうことなの！と、自分に腹を立てたのです。そして、高槻駅のホームに立ったとき、奇跡のように、治ってました。ほんの数分の出来事でした。本当に、病気を治すのは、自分です。自分の身体の主役は自分です。私の体験談は以上です。もっといっぱい書きたいことはあったような気もしますが、とりあえず感謝とともに、ここまでとさせていただきます。

これを読んでくださった皆様、私と同じような症状の方、いらっしゃいますか。つたない文章ですが少しでも、どなたかのお役に立つことがあればとても嬉しいです。多くの皆様のおかげで私は今では何もなかったかのように普通に楽しくおしゃれして暮らしています。本当に本当にありがとうございました。